

# ＝ 普 及 情 報 ＝

No. 2

平成30年5月1日

東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題 くにびき稲作総代会で美味しまね認証の推進を図りました

(ダイジェスト)

4月26日(木)に開催されたくにびき稲作協議会総代会の研修会において、美味しまね認証について、生産者へ情報提供しました。今後も関係機関と協力して、普及部としても美味しまね認証の推進に取り組みます。

4月26日にくにびき稲作協議会(会長 三島正氏、会員100名)の総代会が開催され、松江市内稲作農家20名の参加がありました。

総代会の前に、研修会があり、資材メーカーから土壌改良剤、除草剤についての説明があった後、普及部から「美味しまね認証について」と題し、GAPについての話、県全体の認証取得状況及び松江市内の認証取得者の紹介、申請に必要な書類、取得することによる効果等の話をしました。

県内全体での美味しまね認証の取り組み数は、175品目・280経営体(団体重複を除くと269経営体)、うち穀物の米は24品目・44経営体(平成30年4月2日現在)。松江市では、青果物の野菜・果物での認証取得はありますが、米では平成29年3月に認証取得されたライスフィールド有限会社のみです。また、カンドーファーム株式会社は平成30年2月に、県内3件目のJGAP認証を取得されました。(認証品目:米、大麦、小麦)

生産者からの質問で「美味しまね認証に取り組もうと考えているが、対応してもらえるか」、「味度値と食味値の違いは何か」等の積極的な発言があり、今回の情報提供は意義があったと感じました。また、総代会後に開催された懇親会の場でも、「是非美味しまね認証を取りたい」、「併せて米以外(青果物)も取りたい」といった声もありました。

当普及部では今後もいろいろな場で美味しまね認証について話し、生産者から取得希望があれば、農政部、市、JA等関係機関と連携し、積極的に推進していく考えです。